

711DX トーンプローブセット

取扱説明書

本探索機をご利用になる前に、取扱説明書をよく御読みになり内容を充分ご理解頂いた上でご使用下さい。間違ったご理解によるご利用は怪我、もしくは死亡事故を招く恐れがありますので、ご注意ください。



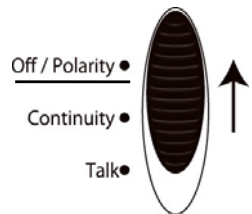
トーン発信は必ずスライドスイッチ
を off/polarity の位置で行ってくだ
さい。



注意

(off/polarity 以外のスイッチでは、
発信音が小さくなると同時に逆電圧
流入時に基盤の損傷を引き起こす恐
れがあります。)

内部の電流制限抵抗及び重要部品が
損傷する可能性がありますので、
ADSLへの長時間のご利用はお避
けください。



安全にご使用いただくために

絵表示とその意味は次のようになっています。内容をよく理解してから本文をお読みください。

また、警告・注意表示以外でも、状況によっては重大な結果に結びつく可能性があります。

いずれも安全に関する重要な内容を記載していますので、必ず守ってご使用下さい。

この警告マークは、作業に従事される方に注意を促します。



警告

この表示を無視して誤った取扱をすると、重傷もしくは死亡事故を招く恐れがあります。



注意

この表示を無視して誤った取扱をすると、怪我を負う恐れがあります。



感電注意

- 活線に触れると重傷もしくは死亡事故になる恐れがあります。
- 本機を雨の中や湿気の高い場所に放置しないでください。
- この取扱説明書の内容以外の目的には使用しないでください。本機に搭載されている保護機能が損なわれる恐れがあります。
- テストリード線及び付属品は電圧やカテゴリーを確認して適切な物を使用してください。
- テストリード線及び付属品は使用する前に、汚れがないか、濡れていないかどうか確認してください。またケーブルも損傷がないことを確認してください。
- 電池ケースを開ける前に必ずテストリード線をケーブルからはずし電源を切ってください。
- 本機を分解して修理などを行わないでください。

誤ったご使用は重傷もしくは死亡事故を招く恐れがあります。



注意

- 本機の分解・修理などを行わないでください。
- 本機を極端に高温高湿な場所に放置しないでください。

誤った取扱をすると、怪我を負う恐れ及び本機の損傷を招く場合があります。

はじめに

このたびは711DXトーンプローブセットをお買い上げいただき誠にありがとうございます。ご使用前に本書を正しくお読みになり安全にご利用ください。

77GX トーン送信機

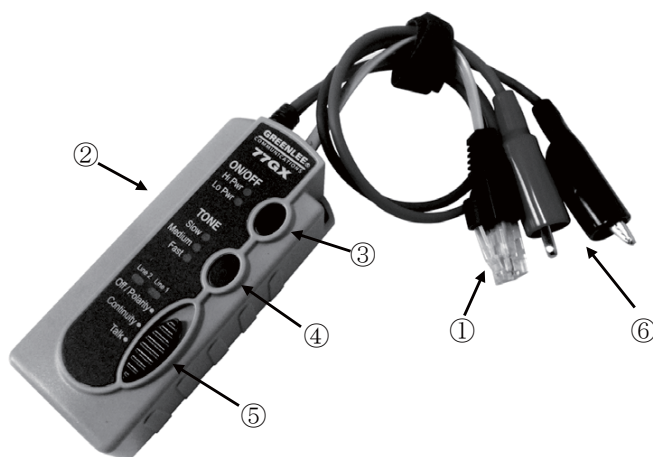
概要

77GX トーン送信機はペア線の対照及び通信ケーブルの探索を行う際に、トーン信号をペア線又はケーブルの心線とアースに送ります。

3種類のトーンパターンの選択及び信号の強弱切替やラインの極性テストそしてプレストの電源供給機能をボタン操作で簡単に行うことができます。

特長

- 【早い・普通・遅い】の3種類のトーンパターンが選択可能
- 赤・黒リード線及びRJ-11 モジュラープラグを装備
- 極性チェックに有効な赤・緑の2色LEDを採用
- 距離に応じた強弱2段切り替えの信号出力
- 【強】赤リード線 / 【弱】黒リード線の送信出力の違いで (L1)・(L2) の識別



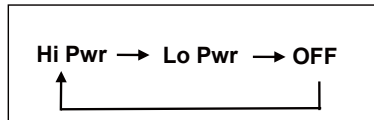
- ①RJ-11 モジュラーコード：2P4 芯型【LINE 1】⇒ 内2芯・【LINE 2】⇒ 外2芯
- ②電池収納ケース：カバーを取ると電池の交換ができます。[006P・9V×1個]
- ③電源ボタン：【Hi Pwr(強)】と【Lo Pwr(弱)】2種類の送信出力が選択できます。
- ④トーン選択ボタン：【Slow(ゆっくり)】、【Medium(普通)】、【Fast(早い)】
3種類のトーン音が選択できます。
- ⑤機能選択スイッチ：スライドスイッチで【Off/Polarity】、【Continuity】【Talk】
3種類の機能を切り替えます。
- ⑥赤黒ワニ口クリップ：ペア線・単線・端子盤に接続する時に使用します。

※77GX トーン送信機の信号はノイズフィルター受信機(500XP)と互換性があります。

トーン発信と探索

送信機の ON/OFF ボタンを押すと【Hi Pwr(強)】の LED が点滅し、再度押すと【Lo Pwr(弱)】が点滅します。

*再度押すと電源は【OFF】に戻ります。



Tone ボタンを押してトーン音の間隔を【Slow(ゆっくり)】、【Medium(普通)】
【Fast(早い)】から選びます。状況に合わせてトーンパターンを選択してください。

①下記のいずれかの方法で送信機を探索する回線に接続します。

- **MJに接続**：モジュラープラグをモジュラージャック (MJ) に接続します。信号はモジュラープラグの**中心の2芯**に送信されます。
*注意：送信機のモジュラープラグはRJ-11です。RJ-45モジュラージャックへ接続するとRJ-45モジュラージャックの外側2芯が損傷する恐れがありますのでお避け下さい。
- **ペア線の探索**：赤リード線をペア線の【Ring】側に、黒リード線を【Tip】側に接続します。
*注意：カテゴリ5の様にツイストの強いケーブルは、赤・黒リード線をそれぞれ別のペア線に接続します。(例：赤リード線をペア線の【Tip】側に、黒リード線を別のペア線の【Tip】側に接続)
- **ケーブルの探索**：赤リード線を探索するケーブルの心線に、黒リード線をアースに接続します。
*注意：アースは単独のものを使用し、ケーブルシースと同電位のアースはお避けください。
- **同軸ケーブル**：赤リード線をシールドに、黒リード線をワイヤーに接続します。

②ケーブルを受信機で探索します。

一番強い感度を示すケーブルが目的の心線又はケーブル本体です。

*注意1：導通テストを行う際は、極性を確認してケーブルに電力がないことを確認してください。

*注意2：ペア線がショート状態のときは発信されません。

③スライドスイッチを【Off/Polarity】にして、赤リード線をケーブルの【L1】に、黒リード線を【L2】に接続してください。

④スライドスイッチを【Continuity(導通)】に切り替えて LED が赤く点灯すると導通を示しています。

*注意：回線の抵抗が10kΩを超えるとLEDは点灯しません。

200EP-G トーン受信機

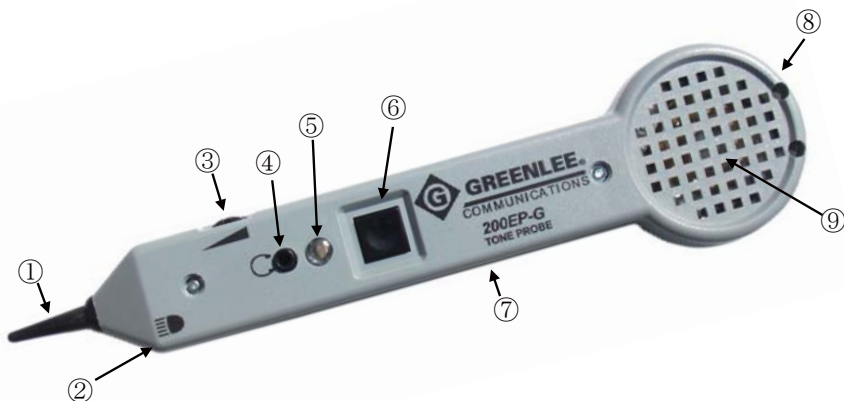
概要

200EP-G トーン受信機はトーン発信機と併用することで、被覆を剥くことなく配線の探索やケーブルの束から目的ケーブルを識別する非接触心線対照機です。

発信機からの探索信号音を検知すると本体中央部の LED が信号強度表示として点灯します。検知されたトーン信号が強いほど LED は明るくなります。

特長

- 電池消費を防ぐ使用時のみ電源の入る電源ボタン
- 受信感度が調節可能な感度ボリューム
- 暗所での作業で便利な先端部のフラッシュライト
- 短絡のない安全な樹脂製先端チップ
- 汎用性の高いφ3.5mm イヤフォン出力端子を搭載



- ① 樹脂製先端チップ：短絡のない安全な導電プラスチック製の信号検出部。
- ② フラッシュライト：暗所での作業に便利。
- ③ 感度ボリューム：受信した信号の感度を調整します。
- ④ イヤフォン出力端子：φ3.5mm 対応（イヤフォン使用時はスピーカーOFF）
- ⑤ 受信表示 LED：目的の線を検知すると点灯し識別が容易に行えます。
- ⑥ 電源ボタン：押すと電源 ON、さらに押込むとフラッシュライトが点灯
- ⑦ 電池カバー：カバーを取ると電池の交換ができます。[006P 9V×1 個]
- ⑧ ブレスト端子：ブレスト装着時にプッシュスイッチを押さずに探索可能。
- ⑨ 防滴スピーカー：マイラーコーンの防滴スピーカー搭載

200EP-G 操作方法

●送信機の接続

心線やケーブルを識別するには、まず送信機を探索する心線に接続します。

終端処理された使用中のケーブル

送信機のリード線の一方を心線に接続し、もう一方のテストリード線をアース、もしくは設備の接地を利用するなどしてアースをとります。

未使用の終端処理がされていないケーブル

テストリード線の一方を心線にもう一方を別の心線に接続します。

(例：チップとリング、オープンペア線の a と b)

この場合ケーブルの探索は若干信号が弱くなりますが、ペア線の探索は明確に識別できるようになります。

●探索方法

- ① 送信機の電源をONにして探索用トーンを発信します。
- ② 遠隔地でのケーブルや心線のトーン信号探索の前に、発信側で 200EP-G が正常に動作するかどうか確認します。プローブの電源を入れ送信機の送信音を受信することを確認してください。

何も音が感知されなかった場合はフィルターなしの「通常モード」で使用するか、送信機のバッテリーを交換してください。
- ③ プローブを作動させた後、周辺状況に応じてボリュームを調整してください。交通や飛行機、機械などの騒音があるところではボリュームを上げ、逆に干渉を減らしたいときや音に気を配るべきところではボリュームを下げてください。
- ④ 200EP-G にはブレストを接続するためのブレスト端子が装備されています。ブレストを通話モード時に接続するとプローブの電源が自動的に作動します。
- ⑤ メインスイッチを押さずに 200EP-G を作動させ、無音で LED のみを使用するにはブレスト端子の間にジャンパ線を接続してください。ブレストを接続したのと同じ状態になります。
- ⑥ 200EP-G の先端チップを目的線と思われるケーブルの被覆に触れながら探索します。
- ⑦ 目的線のところで受信音が最大になります。(目的線を他の心線から離すと分かりやすくなります)

仕 様

77GX トーン送信機

ブレスト供給電圧	5.5VDC
出力 (600Ω 入力)	
Hi power	+8dBm
Lo power	+1dBm
出力周波数 (最小) : トーン信号	交替で 577/983Hz +/−1%
Slow	2.5Hz
Medium	6Hz
Fast	13Hz
耐圧	60VDC (600Ω)
電源	9V 電池×1 (006p)
電池寿命	100 時間
オートパワーオフ機能	4 時間 (トーンモードで)
寸法	101×41×35 mm
重量	150 g
作動温度	0℃~50℃
湿度	80% (最大)

200EP-G トーン受信機

ゲイン (名目)	30db
入力インピーダンス (名目)	100MΩ
先端チップ抵抗	300Ω
ヘッドセット対応	3.5mm ステレオプラグ (最低 8Ω)
電 源	9VDC 006P 角型電池
電 池 寿 命	>50 時間
寸 法	231×55×28 (mm)
重 量	145 g
作動/保管温度	0~50℃

メンテナンス

電池交換

【送信機：77GX】

- ① 電源を切って、送信機をケーブルから外します。
- ② 2つのネジを外し、カバーを取ります。
- ③ 電池を交換します。(極性に注意してください)
- ④ 電源コードの挟み込みに注意して、カバーとネジをもどします。

【受信機：200EP-G】

- ① 受信機の電源を切ります。
- ② 電池ケースのネジを外し、カバーを取ります。
- ③ 電池を交換します。(極性に注意してください)
- ④ 電源コードの挟み込みに注意して、電池カバーを戻しネジを締めます。
この際、ネジを締めすぎないようにしてください。

先端チップ交換

- ① 受信機の電源を切ります。
- ② 先端チップのカバーのネジを外し、カバーを取ります。
- ③ 先端チップを交換します。
- ④ 先端チップのカバーをつけ、ネジを締めます。ネジを締めすぎないようにしてください。

クリーニング

定期的に、固く絞った布と中性洗剤を使って拭いてください。研磨剤や溶剤は使用しないでください。

セット内容

送信機・受信機・ケース単品でもご購入頂けます。

- ① 77GX トーン発信機
 - ② 200EP-G 受信プローブ
 - ③ 専用ソフトケース
- 動作確認用電池 (006P 9V 電池×2)
 - 取扱説明書・保証書 (本書)



オプション品

交換用先端チップや便利なアクセサリもお取り扱いしております。
ご購入は販売店もしくはグッドマンまでお問合せください。

- ① 006P 型 9V ニッケル水素充電電池 GP200
- ② 006P 型 9V ニッケル水素充電電池用充電器
- ③ 先端チップ RPT-1
- ④ RPC スパイク付ワニロクリップ



機器の使用方法や万が一の故障・修理をご要望の際は、いつでもお気軽にお問い合わせ下さい。

総発売元 株式会社グッドマン

神奈川県横浜市金沢区六浦東 2-3-3

[TEL:045-701-5680](tel:045-701-5680) FAX:045-701-4302

フリーダイヤル:0120-26-5527

e-mail:info@goodman-inc.co.jp

HP:www.goodman-inc.co.jp

保証書

※ 御使用者 住 所 氏 名	
モデル 711DX トーンプローブセット	品 番
保証期間 年 月より 2ヶ年	

お願い 本保証書は、アフターサービスの際必要となります。
お手数でも※印箇所にご記入の上本機の最終御使用者のお手許に保管してください。

保証規定

1. 保証期間中に正常な使用状態で、万一故障等が生じた場合は、保証規定に基づき無償で修理いたします。
2. 本保証書は、日本国内でのみ有効です。
3. 保証書の再発行はいたしません。
4. 下記事項に該当する場合は、無償修理の対象から除外致します。
 - a. 不適切な取扱い使用による故障
 - b. 設計仕様条件等を超えた取扱い、使用または保管による故障
 - c. 当社もしくは当社が委託した者以外の改造又は修理に起因する故障
 - d. その他当社の責任とみなされない故障

販売店名